

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期における支援体制の充実とスタッフのレベル格差	家族や利用者が安心してゆうゆうで最期の時を過ごす事が出来る	内外の研修や学習を通してスタッフ全員が終末期において不安の無いよう知識をつける。病院、訪問看護、家族などと話し合いを重ね個々に合わせた悔いの無い終末期を送れるようにする。	12ヶ月
2	48	より利用者のやりたい事や思いに沿った生活の支援	それぞれの利用者がゆうゆうで過ごす事が当たり前で違和感が無く、自分のやりたい事が出来る	スタッフ本位で日課を送らず、利用者とのコミュニケーションの時間を増やす事で利用者の思いを把握する。把握できたことは生活記録などに記載しスタッフ間で共有し、具体的にケアに生かす。	3ヶ月
3	10	事業所の運営における家族や利用者の意見、要望がつかみきれていない	利用者や家族の意見、要望が事業所の運営やケア内容に反映出来る	家族が集う家族会を行い忌憚ない意見要望を頂く。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。